

# FortiFlex の従量課金型セキュリティライセンスで、デジタルアクセラレーションのスピードに対応

## エグゼクティブサマリー

デジタルアクセラレーションは企業にとって、長い時間のかかる継続的な進化と変革の取り組みです。その過程で生じた新たな需要や課題に対応するために環境や展開を適応させていくため、ニーズや要件は時間とともに変化します。このようなダイナミックな環境を保護するには、デジタルアクセラレーションのスピードに合わせ、投資と成果のバランスをとって最適化できる、従量課金制のセキュリティライセンスを導入する必要があります。

フォーティネットの FortiFlex では、マルチクラウド、ハイブリッドクラウドからハイブリッドメッシュファイアウォール (HMF) 展開まで、さまざまなデジタルアクセラレーションの取り組みを容易に保護できます。ポイント消費型のプログラムである FortiFlex を利用することで、セキュリティソリューションおよびサービスを柔軟に拡張・縮小し、ダイナミックに変化する展開ニーズや進化し続ける要件に対応できます。FortiFlex では、必要に応じて使用した分だけ料金が発生します。



「47%を超える企業がプラットフォームとサービスに柔軟性を求めています。」<sup>1</sup>

## デジタルアクセラレーションに従量課金型セキュリティライセンスが必要な理由

デジタルアクセラレーションを推進するにあたり、企業はより高速で快適なアプリケーションエクスペリエンスを提供し、アプリケーションとデータをユーザーとデバイスに近づけようとしています。また、顧客ニーズの変化に可能なかぎり迅速に対応しようとして試行錯誤を続けてもいます。その結果、デジタルアクセラレーションの取り組みとその要件は非常に流動的なものとなっています。その一方で、経営陣はデジタルアクセラレーションの成果を求め、投資の最適化とコストの削減を通じてROIの向上を追求しています。

デジタルアクセラレーションにセキュリティが不可欠なのは、侵害が発生すれば、財務、法務、ブランドの評判に想定外の悪影響を及ぼす恐れがあるからです。したがって、デジタルアクセラレーションのスピードと規模に合わせて、セキュリティソリューションも展開していく必要があります。

また、従来の期間ライセンスから従量課金型ライセンスへと可能なかぎり移行することで、セキュリティソリューションの利用方法もモダン化する必要があります。従来のライセンスアプローチでは、将来実際に使用するソリューションではなく、現時点で必要と考えられるソリューションを事前に決定してあらかじめ購入しておく必要がありました。そのため、必要以上の料金を支払ったり、要件が変化した場合は新しいソリューションの購入を余儀なくされるほか、新しく購入する場合は、未使用のソリューションをサunkコスト（埋没費用）として扱うか、現在のライセンスの有効期間が切れるまで待つこととなります。

FortiFlex のような従量課金型セキュリティツールを導入すれば、展開サイズを適正化でき、実際の使用量に基づいて料金が発生する柔軟な運用が可能になります。従量課金型ソリューションの導入は、以下のような課題の解決につながります。

- 展開サイズの正確な判定の難しさ
- 需要と使用量の変動
- 予測不能なコスト
- 調達が遅れた場合の悪影響
- 要件の変化

## セキュリティとコストを適正化

FortiFlexはポイント制の従量課金型プログラムです。そのため、お客様は必要なフォーティネットのサービスおよびソリューションをオンデマンドでプロビジョニングできます。フォーティネットのソリューションはダイナミックに拡張・縮小できるため、デジタルアクセラレーションの取り組みが今後どのように進化・変化しても、完全な保護が可能です。

オンプレミス、物理および仮想データセンター、クラウド、ハイブリッドクラウド、HMF展開環境など、サポート対象ソリューションを展開する必要のあるあらゆる環境にFortiFlexを導入できます。強力なAPIを通じて、FortiFlex対応ソリューションを手動または自動でダイナミックにプロビジョニングまたは解除することができます。

FortiFlexでは、毎日の使用量に基づいてのみ料金が発生します。消費したポイントは残高から差し引かれます。ポイントは必要に応じて追加購入できます。

サブスクリプション期間終了時点で未使用ポイントがある場合は更新時に翌年への繰り越しが可能であるため、投資価値が失われることはありません。

## 展開および購入の意思決定がシンプルに

FortiFlexはポイント消費型のプログラムであるため、無駄な調達サイクルやリードタイムを省くことができます。導入するソリューションを事前に計画してサイズを決定する必要がないため、計画時にニーズを過小評価または過大評価してしまうリスクを低減できます。ソリューションやサービスの追加が必要になった場合、ポイント残高を使用して必要な分だけいつでも展開できるため、調達プロセスを経る必要がありません。そのため、FortiFlexは特にダイナミックな環境を持つ企業のあらゆるデジタルアクセラレーションに最適です。

## FortiFlexの非常に包括的な従量課金型セキュリティプログラム

お客様はFortiFlexにより、クラウド、ハイブリッドクラウド、オンプレミスにわたって幅広い最先端ソリューションをオンデマンドで利用できます。FortiFlexは、仮想および物理ハードウェアベースのソリューションとサービスに対応する唯一のソリューションです。

FortiFlexを導入すれば、仮想アプライアンスインスタンス、サポート対象の仮想コア、個別サービスまたはバンドルサービスを必要なだけ展開できます。ソリューションには以下が含まれます。

- FortiGate VM(仮想マシン):次世代ファイアウォール(NGFW)、ソフトウェア定義の広域ネットワーク(SD-WAN)
- FortiManager VM:一元管理、可視性、自動化
- FortiAnalyzer VM:分析
- FortiWeb VM:WebアプリケーションおよびAPIの保護(WebアプリケーションファイアウォールとWebアプリケーションプロキシ)
- FortiADC VM:アプリケーションデリバリーコントローラ
- FortiPortal VM:セキュリティポリシー管理および分析のためのマルチテナントポータル

また、FortiFlexでは、FortiGate 物理ハードウェアアプライアンス向けサービス、業界をリードする Fortinet NGFW および Secure SD-WAN ソリューションもプロビジョニングできます。FortiFlexは、HMFに対応する業界初の従量課金型ライセンスプログラムとなっています。HMFは、フォーティネットセキュリティファブリックのようにエンタープライズITの複数の領域を協調的に保護する、統合セキュリティプラットフォームの新しいコンセプトです。

また、以下のFortiGateハードウェアアプライアンス向けに、FortiGuardおよびFortiCareサービスも提供しています。

- FortiGate 40F
- FortiGate 60E/60F/61F
- FortiGate 70F
- FortiGate 80F
- FortiGate 100E/100F/101F
- FortiGate 200E/200F/201F
- FortiGate 400F
- FortiGate 600F

FortiFlex プログラムにフォーティネットの新しいソリューションが加わると、FortiFlex を導入している企業は所有ポイントを消費して新しいソリューションを展開し、利用できます。この使いやすい単一プログラムにより、FortiFlex の柔軟性とコスト最適化を活用するとともに、将来にわたって投資を保護できます。

## クラウドプロバイダーに確約した最小使用量を守る

AWS のエンタープライズ割引プログラム (EDP)、Google Cloud の確約利用割引 (CUD) などを利用し、クラウドプロバイダーに確約した最小使用量がある場合、

AWS または Google Cloud Marketplace でのプライベートオファーを通じてこの確約分の一部を取得し、FortiFlex で消費できます。

FortiFlex に FortiGate ハードウェア向けサービスが加わることで、この確約分の消費がさらに容易になるとともに、1 つのプログラムでハイブリッドクラウドと HMF 展開に対応できます。



「ソフトウェアおよびサービスがCBM(従量課金型モデル)に占める割合は、2021年には41%でしたが、2026年には56%に増加するでしょう」<sup>2</sup>

## モダンな従量課金型セキュリティライセンスでデジタルアクセラレーションのスピードに合わせた展開を実現

デジタルアクセラレーションに取り組む企業がデジタル資産を保護するには、インフラストラクチャのみならず、セキュリティの利用方法、展開方法もモダナイズする必要があります。そのためには、FortiFlex のような従量課金型セキュリティライセンスを導入し、デジタルアクセラレーションと同様に流動的なセキュリティを実装できる態勢を整える必要があります。

フォーティネットの FortiFlex を利用すれば、あらゆるデジタルアクセラレーションの取り組みにおいて、クラウド、ハイブリッドクラウド、HMF 環境を保護するサービスのサイズとそのコストを柔軟かつダイナミックに適正化できます。この柔軟性に優れたポイント消費型のライセンスプログラムは幅広いソリューションおよびサービスに対応しているため、企業はデジタルアクセラレーションの取り組みを自由に拡張・縮小しつつ保護できます。必要に応じてダイナミックに調整できるため、無駄な調達サイクルを経る必要はありません。強力な API を介してライセンスのプロビジョニングを自動化でき、デジタルアクセラレーションのスピードに合わせた展開が可能です。

クラウドマーケットプレイスでのプライベートオファーを通じて、AWS や Google Cloud などのクラウドプロバイダーに対して確約した最小使用量を FortiFlex で消費することができます。フォーティネットのパートナーから直接 FortiFlex を利用することもできます。ぜひ [FortiFlex](#) の詳細をご覧ください。

<sup>1</sup> "Cloud Computing Study 2022," Foundry, April 6, 2022.

<sup>2</sup> O' Connell, Adrian, "Forecast Analysis: Consumption-Based Models Portfolio Opportunity Worldwide," Gartner, May 1, 2023.

# FORTINET

フォーティネットジャパン合同会社

〒106-0032

東京都港区六本木7-7-7 Tri-Seven Roppongi 9 階

[www.fortinet.com/jp/contact](http://www.fortinet.com/jp/contact)

お問い合わせ